

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 153-8518
 住 所 東京都目黒区東山3-8-1
 氏 名 東急バス株式会社
 取締役社長 山口 哲生

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東急バス株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区溝口5-14-1		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	43	道路旅客運送業
主たる事業 の内容	一般乗合旅客自動車運送事業		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		kl
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車の台数	220	台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度（報告年度 平成30年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第3号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 9,329 t-CO ₂ (調) 9,329	(実) 9,093 t-CO ₂ (調) 9,093	(実) 9,134 t-CO ₂ (調) 9,134	(実) 9,449 t-CO ₂ (調) 9,449	(実) 9,223 t-CO ₂ (調) 9,223
削減率		(実) 2.5 % (調) 2.5	(実) 2.1 % (調) 2.1	(実) -1.3 % (調) -1.3	(実) 1.1 % (調) 1.1

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	バス軽油使用量		単位	K ϕ	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	2.622	2.535	2.610	2.599	2.621
削減率		3.3 %	0.4 %	0.9 %	0.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	年間走行キロ Δ 0.65%、軽油使用量0.8%増となったが、エコドライブへの取り組み、低燃費車の導入等の努力により基準年度CO ₂ 排出量は2.5%、原単位は3.3%減少させることが出来た。
第2年度	年間走行キロ2.4%増、軽油使用量 Δ 1.7%となった。エコドライブへの取り組み、低燃費車の導入等の努力により基準年度CO ₂ 排出量は2.1%減少させることが出来た。
第3年度	前年比年間走行キロ5.9%増、軽油使用量3.8%増となった。エコドライブへの取り組み、低燃費車の導入等の努力を続けたが、7~8月の猛暑による冷房使用の増加により、排出量は基準年度比で1.3%増加したが、原単位は0.9%改善した。原単位は目標を達成したが、排出量は目標に届かなかった。来期には低燃費車の導入やエコドライブの推進により目標を達成したい。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの取り組み実施 アイドリングストップの励行や急な加減速の抑制など日頃からの取り組みに加えて、エコドライブ強化運動実施期間を毎年度設定。運転指導や添乗調査など全社的な取り組みを展開し、環境に配慮した運転をより一層推進する。 また、車両メーカーが開催する省エネ運転講習会に参加して、運転業務に携わる従業員の環境意識の向上を図る。 ・低燃費車の導入 今後新たに導入する車両については、低燃費車（燃費基準達成車）とする。
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの取り組み実施 エコドライブ強化運動を年2回実施し、環境に配慮した運転の推進を全社的に心がけ展開しました。 ・平成28年度低燃費車の導入 本年度低燃費基準車を23台導入いたしました。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの取り組み実施 エコドライブ強化運動を年2回実施し、環境に配慮した運転の推進を全社的に心がけ展開しました。 ・平成29年度低燃費車の導入 本年度低燃費基準車を13台導入いたしました。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの取り組み実施 エコドライブ強化運動を11月に実施し、環境に配慮した運転の推進を全社的に心がけ展開しました。 ・平成30年度低燃費車の導入 本年度低燃費基準車を追加導入いたしました。

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	(記載事項なし)
第1年度	(記載事項なし)
第2年度	(記載事項なし)
第3年度	(記載事項なし)

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	(記載事項無し)
第1年度	(記載事項無し)
第2年度	(記載事項無し)
第3年度	(記載事項無し)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

イ 第 3 号該当者等

(実)	9,449	t-CO ₂
(調)	9,449	

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--

7 自動車の使用状況一覧 (第3号該当者等)

(1) 車両の種別

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
		台数	台数	台数	台数
総 数		219 台	220 台	220 台	220 台
内 訳	普通貨物自動車	0 台	0 台	0 台	0 台
	小型貨物自動車	15 台	15 台	15 台	15 台
	大型バス	203 台	204 台	203 台	204 台
	マイクロバス	1 台	1 台	2 台	1 台
	乗用自動車	0 台	0 台	0 台	0 台
	特種自動車	0 台	0 台	0 台	0 台

(2) 燃料の種別

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	最新年度
		台数	台数	台数	台数	比率
総 数		219 台	220 台	220 台	220 台	100.0 %
内 訳	電気自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	天然ガス自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	メタノール自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	ハイブリッド自動車	2 台	3 台	4 台	4 台	1.8 %
	プラグインハイブリッド自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	燃料電池自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	水素自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	ガソリン自動車 (ハイブリッド除く)	13 台	13 台	13 台	13 台	5.9 %
	ディーゼル自動車 (ハイブリッド除く)	204 台	204 台	203 台	203 台	92.3 %
	LPGガス自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	その他	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
うち低燃費車※ の台数	104 台	121 台	134 台	142 台	64.5 %	

※ 低燃費車とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき定められた燃費基準(トップランナー基準)を早期達成している自動車をいう。